

市は、5月に満100歳を迎えたお年寄り2人に記念品（増沢塗食器セット）を贈りました。千葉貞子さん（前沢区字道場Ⅱは、江刺区米里の出身。前沢町時代に民生委員・児童委員を15年、保護司を10年務めました。入所中のグループホームで行われた誕生会では、ケーキや歌で長寿を祝いました。）

石井ハルさん（江刺区岩谷堂字下惣田Ⅱは、仕事で留守がちな夫に代わり、農作業を1人でこなしした頑張り屋さんだったと



のこと。老人ホームの職員と一緒に撮ったもちつきの写真が、大のお気に入りです。



各区長から記念品を受け取る千葉貞子さん（5月1日・上）と石井ハルさん（5月4日・右）

水沢・江刺の2人がめでたく百歳



稼働を祝い通水スイッチを押す相原市長と高橋由一金ヶ崎町長

奥州金ヶ崎行政事務組合（管理者・相原正明市長）のたなこ浄水場通水式は5月7日、胆沢区若柳字上横沢原の同浄水場で行われ、関係者約70人が出席しました。相原市長は「当初計画からは社会情勢が変化している。今後は関係機関と十分協議して将来の需要に的確に応えたい」とあいさつしました。

利用する胆江広域水道の基幹施設として、ことし2月に1期工事分が完成。胆沢川上流から取水して暫定給水を始めました。広域水道事業は平成2年に国の認可を受け、胆江地区（旧衣川村を除く）の2市3町を給水区として進められてきました。26年度に始まる胆沢ダムからの取水に合わせ、2期、3期の拡張工事計画されています。

浄水場完成で水道の安定供給向上

市の出来事から

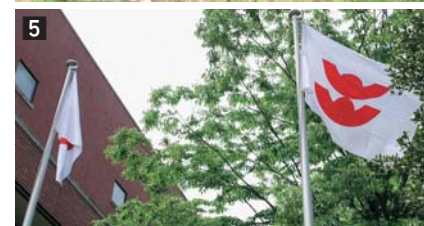


- 1 全校生徒がグラウンドや学校の周囲をランニングした衣川中学校
- 2 得意のよさこいソーランを見せてくれたのは玉里保育所（江刺区）
- 3 チャレンジデーに合わせて開かれた胆沢区民長寿体育祭。カーリングに似たユニカールでハッスルプレー

同程度の人口規模の市町村や地域同士が、スポーツや運動をした住民の参加率を競うチャレンジ2008は5月28日、全国一斉に行われました。本市は島根県出雲市と対戦し、結果は本市参加率42.2%（参加者数54,601人／人口129,390人）、出雲市参加率51.2%（参加者数75,015人／人口146,607人）で、出雲市が勝利を収めました。市民の皆さんの奮闘は及びませんでしたが、初参加の自治区でも、各地区、小中学校、企業、団体などで積極的な取り組みが見られました。ご協力ありがとうございました。

チャレンジ
2008
勝利ならず

奥州市
42.2%



- 4 歩行は運動の基本。白鳥館遺跡を歩いて学んだ世界遺産ウオーク（前沢区）
- 5 敗者は勝者の旗を掲揚するのがチャレンジデーのルール。市役所本庁舎前にひるがえった出雲市旗
- 6 全国共通イベントのロープ・ジャンプに挑戦した水沢小学校



人権擁護委員に菅野健悦さん



菅野健悦さん(63)
江刺区梁川字館下
☎ 2412

市内を担当区域とする人権擁護委員に、新たに菅野健悦さん（江刺区）が4月1日付けで委嘱されました。任期は3年です。

また任期満了などに伴い伊藤武光さん（江刺区）、小野寺仲子さん（衣川区）が3月31日付けで退任しました。

人権擁護委員は、法務大臣が委嘱し、基本的人権に関する啓発や、人権侵害などの調査や救済のための活動が無報酬で行います。各総合支所や法務局で、人権に関する相談も毎月行っています。詳しくは広報おうしゅうお知らせ版「各種相談」コーナーをご覧ください。

■問い合わせ＝本庁市民課総合相談室（内線126）

水沢病院に内科医が着任



【総合内科長】
後藤邦彦先生(65)

■自己紹介 内科一般の診察・治療に携わっています。特に病気予防について、風邪をひかないように、がんにならないように、メタボリックシンドロームになっていないかなど分かりやすくお話しいたします。お気軽にご相談ください。アトピーの漢方療法も行っています。

6月から午後の内科外来を再開

後藤先生の着任で6月から内科の午後の診察を再開しました（専門外来は今までどおり予約のみ）。

なお、木曜日の診察は6月19日からになります。

■診察日＝毎週月～金 ■受付時間＝正午～午後3時

■問い合わせ＝総合水沢病院（☎ 3833）